

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	まごころ「まつば」			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	36名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		～	2025年 11月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所に広い庭があり、外遊びが安全にできる。	安全に遊ぶように庭の整備を常に行っています。また、外遊び用の遊具の安全も確認しています。 外遊びならではの遊びが思いっきりできるように、スタッフの見守りの中、楽しめるように努めています。 また他児同志との交流を通して、遊びのルールであったり、協力・一体感を育めるように、必要に応じてスタッフが間に入りながら学ぶことができています。	子ども達の「やりたい、してみたい」の気持ちをしっかり汲み取り、実現できるよう遊具の充実や安全な環境整備を整えていくことさらに充実できるように努めてまいります。
2	調理や外出、制作活動の充実	季節や行事、「5領域」に基づいた活動を行っています。 お子様の個々の特性を配慮して、しっかりと活動に参加できるようにスタッフ全員が意識して取り組むことができています。	お子様の意見や希望、保護者様からのご希望も取り入れながら、それぞれの活動の幅を広げていって、お子様に多くの「楽しい」を提供できるように努めてまいります。
3	活動場所(部屋数)が多い。	主に活動する部屋は二階に3部屋あり、日々の活動をする部屋、個別にゆっくり過ごしたり、お友達同士で楽しめるソファのある部屋、大きな出窓から外を眺めたり、おもちゃで遊ぶ部屋があります。お子様がそれぞれの思いで過ごせる環境があり、スタッフと共にのびのびした雰囲気の中、支援ができています。	お子様の成長発達に伴い、必要に応じて教材や玩具などをアップデートできるように努めてまいります。 また、玩具などの修理もきちんと行いながらモノの大切さも伝えていけるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様と保護者様との信頼関係を深めるために、面談の充実を図り、お子様への適切な支援が今以上に提供できるように連携の必要性を考えています。	計画時だけでなく、お子様の様子や保護者様のご心配や悩み等を感じ取り、話しやすい環境を整えていく事ができるようにさらに充実させていければと考えています。	保護者様との関係性がさらに構築できるように、様々な場面で話す機会を設けて、連携の強化を図れるように努めてまいります。
2	建物内のバリアフリー化の必要性を感じています。	戸建ての建物という事もあり、廊下と部屋の境に段差があります。安全を確保できるように日々の点検や修理が必要と考えています。	お子様の個々の特性に合わせた環境作りを考えて対応していきます。 必要な箇所をすべて確認して、常に最善な配慮ができるように努めてまいります。
3	地域との連携が持てなかったため、今後考えていきたいです。	地域のボランティアの方々にバレーンアートを披露していただく機会がありました。お子様たちにとっても好評でしたので、今後も継続できればと考えています。 他にも情報収集をしていながら社会資源の活用をもっと行うことが必要と考えています。	地域の情報の収集を行いながら、お子様たちと一緒に交流できるような機会が創出できるように努めてまいります。また、販売会などを行い、身近な地域の方々との交流できる機会も考えていきます。